

ハッピートライアングル亀戸

(2025 年 12 月付) 保護者向け 児童発達支援評価表 集計結果

		チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	ご意見等
環境・ 体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	0	0	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10	0	1	・ 以前に職員一人で送迎をされていたことがあり、少し不安を感じた。最近はずっと 2 人で送迎をしてくれている。 ⇒ご不安を感じたこと、大変申し訳ございません。引き続き、安全に配慮してサービスを提供してまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	0	0	・ 子供の通っている保育園に似ており、すぐに馴染めた。 ⇒施設構造の関係上、すべてのバリアフリーには対応しきれっておりません。必要に応じてご利用者様に配慮できるよう努めてまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	11	0	0	

		チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	ご意見等
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に 応じた専門性のある支援が受けられていると思 いますか。	11	0	0	・ 親が把握していない特性を見つけ てくれる。 ⇒引き続き、気づいたことなど、適 宜情報共有させていただきます。
	6	事業所が公表している支援プログラム（※2 は、 事業所の提供する支援内容と合っていると思 いますか。	11	0	0	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニ ーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達 支援計画（個別支援計画）（※3）が作成されて いると思いますか。	11	0	0	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドライ ンの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支 援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、そ のうえで、具体的な支援内容が設定されていると思 いますか。	11	0	0	
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると 思いますか。	11	0	0	
	10	事業所の活動プログラム（※4）が固定化されな いよう工夫されていると思いますか。	11	0	0	・ 毎週違う内容に取り組んでいてす ごい。 ⇒ありがとうございます。引き続き 様々な活動を提供できるよう努めて まいります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、そ の他地域で他のこどもと活動する機会があります か。	3	1	7	

		チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	ご意見等
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11	0	0	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11	0	0	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング(※5)等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	0	6	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	11	0	0	・月数回の利用だが、しっかりと子どもの特性を理解してくれている。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	0	0	・定期的に育児や発育の相談に乗っていただいております、大変ありがたい。⇒ご相談等ございましたら、連絡帳や電話、面談等、いつでもご連絡いただければと思います。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11	0	0	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	1	7	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	0	0	・こちらの相談に素早く対応してくれている。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	11	0	0	
非常時等の対応	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	10	0	1	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	0	0	
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	0	1	・子どもが避難訓練に参加した様子を職員が共有してくれた。 ⇒年に2回、ご利用者様と共に避難訓練を実施しております。おたより等を通して、事業所内のマニュアルについてもお伝えしてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	0	0	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	0	0	
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	0	1	

		チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	ご意見等
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	0	1	・子どもが避難訓練に参加した様子を職員が共有してくれた。 ⇒年に2回、ご利用者様と共に避難訓練を実施しております。おたより等を通して、事業所内のマニュアルについてもお伝えしてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11	0	0	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11	0	0	
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	0	1	

		チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	ご意見等
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	11	0	0	・利用日の行き渋りが無いため、安心して通っている。 ⇒ありがとうございます。引き続きよりよい支援に向けて努めてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	11	0	0	・保育園登園日でもハッピーに来たがっている。
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	0	0	

(2025 年 12 月付) 従業者向け 児童発達支援評価表 集計結果

		チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	ご意見等
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8	0	0	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	1	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	3	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	1	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	0	

		チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	ご意見等
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	1	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	3	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	1	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2	4	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	1	

		チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	ご意見等
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	0	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	1	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	1	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	0	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	2	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	0	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	2	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	1	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	0	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	1	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	1	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	2	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	2	

		チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	ご意見等
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	2	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	2	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	2	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	3	
	28					
	29					
	30					
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	1	3	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	0	6	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	0	
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1	3	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	0	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	0	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	0	

		チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	ご意見等
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	0	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	0	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	0	

	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	0	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	5	3	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	1	
	41	定期的に通信等を発行することや、HP や SNS 等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	1	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	0	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	0	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	5	2	

		チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	ご意見等
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	1	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	1	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	0	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	2	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	2	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	3	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	0	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	0	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	3	

事業所における自己評価総括表

登録者数 37 名 回答者数 11 名

	事業所の強みだと思われること (より強化・充実を図ることが期待されること)	・工夫していることや意識的に行っている取組等 ・さらに充実を図るための取組等
1	通所を楽しんでいると思われていること。	・様々な活動を提供したり、児童とのコミュニケーションを積極的に取ることで、一回の利用の満足度が上がるよう心掛けている。
2	家庭での困り感を相談しやすいこと。	・送迎時や電話、連絡帳を介して、より密に保護者の方とのコミュニケーションを図ることで、何か困ったことや不安なことがあった時に相談しやすい環境を作れるよう、日頃から関わり方を意識している。

	事業所の弱みだと思われること (事業所の課題や改善が必要だと思われること)	・事業所として考えている課題の要因等 ・改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域の施設との交流の場が少ない。	・周囲の保育園、子ども園や幼稚園と密に連絡が取れておらず、事業所について知ってもらえていない事が要因の一つとして考えられる。 →事業所の取り組みや概要について知ってもらい、興味を持ってもらえるようであれ一緒に何かできないかを提案してみる。
2		

ハッピートライアングル亀戸

(2025 年 12 月付) 保護者向け放課後等デイサービス評価表 集計結果

		チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	ご意見等
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11	0	3	・ほかの事業所を知らないためわからない。 ⇒基準に沿った広さを確保しております。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	10	1	3	・職員の異動が多いことが不安。 ⇒ご不安を感じたこと、大変申し訳ございません。安定した運営に努めてまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	0	1	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	0	1	

		チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	ご意見等
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	0	1	・先生によって違いがあると感じる。 ⇒よりよい支援を提供できるよう、情報の共有や充実した研修等に努めてまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラム（※2 は、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	0	0	
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。	14	0	0	
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	0	1	・「適切」がどういった意味になるかわからない。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	0	0	
	10	事業所の活動プログラム（※4）が固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	0	0	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	5	5	

		チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	ご意見等
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13	0	1	
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14	0	0	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング（※5）等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	6	6	

	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	14	0	0	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	0	0	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	0	0	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	8	5	・ 中学進学やそれ以降の情報をいただける場があると安心できる。 ⇒今後の検討課題とさせていただきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	1	1	・ 連絡帳に記載した内容について電話で相談してくれることもあり、助かっている。 ⇒ご相談等がございましたら、随時ご連絡いただければと存じます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	0	0	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	13	1	0	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	0	1	

		チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	ご意見等
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	13	0	1	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13	0	1	
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	0	0	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	0	2	

		チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	ご意見等
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	14	0	0	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	12	0	2	・ 仲良しのお友達と会うことを楽しみにしている。 ⇒引き続きよりよいサービスを提供できるよう努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	14	0	0	

(2025 年 12 月付) 従業者向け 放課後等デイサービス評価表 集計結果

		チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	ご意見等
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	1	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	1	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	1	3	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	1	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0	0	

		チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	ご意見等
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0	0	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	2	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	1	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2	4	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	1	1	

		チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	ご意見等
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	0	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	1	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	1	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0	0	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	1	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0	0	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	3	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0	0	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	1	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	2	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0	1	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	0	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	2	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5	0	3	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	0	

		チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	ご意見等
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	1	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	3	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	0	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	2	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	0	6	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	2	4	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	0	2	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	2	5	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	0	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	1	2	

		チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	ご意見等
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	0	
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	0	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0	0	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0	0	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	5	2	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0	0	
	42	定期的に通信等を発行することや、HP や SNS 等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	1	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	0	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	0	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5	1	

		チェック項目	はい	いいえ	どちらとも いえない	ご意見等
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	1	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	1	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0	0	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	2	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	2	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5	0	3	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	0	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	0	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	2	

事業所における自己評価総括表

登録者数 46 名 回答者数 14 名

	事業所の強みだと思われること (より強化・充実を図ることが期待されること)	・工夫していることや意識的に行っている取組等 ・さらに充実を図るための取組等
1	児童が「楽しい」「行きたい」と思って来所をして くれている。	職員のお手伝い等の活動を通して、ハッピートライアングルの一員であ るという帰属意識を高める。
2	学校や家庭での困りごとについて相談できる。	児童の小さな変化に気づき、送迎時や電話にて保護者と情報共有を密に 行うことで、お互いにより相談をしやすい環境を作る。

	事業所の弱みだと思われること (事業所の課題や改善が必要だと思われること)	・事業所として考えている課題の要因等 ・改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	HT を卒業した後の進路等について、保護者や児 童本人に提示できる材料が少ない。	小学校や中学校の卒業と同時に HT を卒業するという過去の実例が少な く、事例から提示できる情報が少ないことが要因。 →地域の他の放デイとの関わりの場を通して(交流会・連絡会等)情報 を仕入れることができるようにする。
2		